

在日インドネシア人生徒とその保護者のための 高校進学情報提供バイリンガルWebサイトの構築

佐々木良造(秋田大学)・助川泰彦(首都大学東京)

実践の場の特徴

- ・茨城県東茨城郡大洗町
- ・総人口17,318人(2017.4.1)
- ・うち外国人748人(インドネシア人は367人)
- ・観光・漁業・水産加工業
- ・1992年インドネシア人労働者受け入れ開始
- ・1998年日系インドネシア人受け入れ開始



移住第一世代

- ・30代、40代
- ・95%がOPI初級(吹原・助川2012)

教育程度	割合
初級下	16%
初級中	63%
初級上	16%
中級	5%

移住第二世代

- ・移住第一世代の子ども
- ・渡日時の年齢はバラバラ
- ・日本生まれ、日本育ちも
- ・優位言語は日本語
- ・保護者とはインドネシア語
- ・高校進学に直面

高校進学に関する情報のニーズ

- ・高校進学情報が得られない
- ・教育制度、入試制度の違い
- ・高校進学への無理解
- ・子どもの進路選択に不干涉

- ・保護者からのサポート
- ・インドネシア語での説明不可能
- ・生徒自身の理解不足
- ・保護者との背景知識の違い

実践の目標

移住第一世代

- ・インドネシアでの高校進学経験
- ・子がどのように高校進学するかわからない

移住第二世代

- ・日本の中学校での進路指導
- ・親がどのような受験体験をしたかわからない

子どもとその保護者の情報格差の解消

具体的な実践の内容とその過程

- ・インタビューによるニーズ調査
- ・高校入学の基本的な事項の説明
- ・学科の選択と進路の関係
- ・やさしい日本語とインドネシア語で

- ・やさしい日本語で・高校入学の基本的な事項の説明を作成
- ・インドネシア語に翻訳
- ・Webサイトの立ち上げ
- ・試作版の評価

目標の達成度と今後の課題

- ・インドネシア出身の留学生2名にインドネシア語の内容を確認
- ・大洗町の在日インドネシア人保護者3名の試作版の評価
- ・試作版を提供した様子から
 - ・保護者の既有知識であるインドネシアでの高校進学過程と日本のそれとの比較・内容確認
 - ・新情報(例:高専の存在、全日制以外の課程の存在)の入手
 - ・高校進学情報の共有(例:保護者・生徒間で高校進学について話す)

子どもとその保護者の情報格差の解消へ

- ### 今後の課題
- ・情報の追加(学科の選択と進路の関係、体験記等)

在日インドネシア人のための高校進学情報

高校入試のための用語集(茨城県在住者向け) KUMPULAN KOSAKATA TENTANG UJIAN MASUK SMA(IBARAKI-KEN)

全日制 (Zennichisei) Sistem pendidikan secara keseluruhan di Jepang...
定時制 (Teijisei) SMA malam...
通信制 (Tsushinsei) Sistem belajar jarak jauh...
中等一貫校 (Chuukou ikkankou) (Tidak ada padanan dalam bahasa Indonesia)...
高専 高等専門学校 (Kousen, Koutou senmon gakkou) SMA Kejuruan...
高卒認定 (Kousotsu Nintei) Penyetaraan lulusan tingkat SMA...
女子校 (Onnashiko, Joshihaku) Sekolah laki-laki dan sekolah perempuan...
くくり募集 (Kukuri bosuu) (Tidak ada padanan dalam bahasa Indonesia)...
卒業見込み (Sotsugyou mikomi) Calon lulusan...
出願資格 (Shutsugan shikaku) Kualifikasi pendaftaran ujian masuk...
特色選抜 (Tokushoku senbatsu) Seleksi masuk secara khusus...
外国人生徒の特例入学選抜 (Gaikokujin seito no tokurei nyuugakusha senbatsu) Seleksi masuk sekolah bagi siswa asing...